

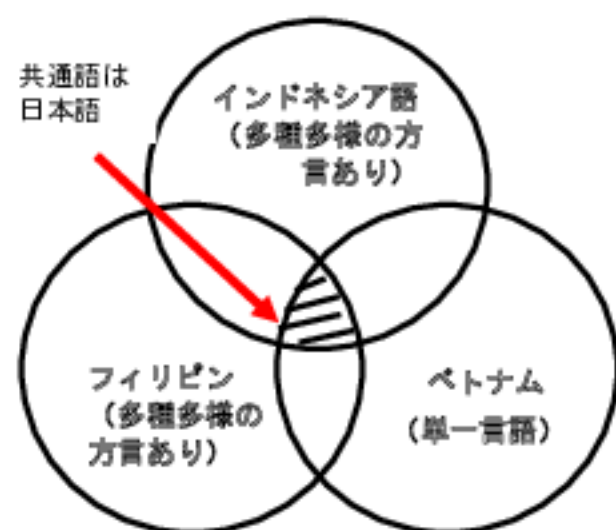
## 外国人対応の仕方 第一弾！！ 多国籍者受け入れに混乱しない方法

- ★ E P A協定で、昨年からはベトナム人の受け入れが始まり、各施設では、多国籍の外国人を受け入れることが多くなってきた。中には、表1のように3カ国の異文化人が入職している所もある。
- ★ 文化の違う外国人受け入れをするにあたって、現場では対応に苦慮している施設の声が多数、弊社に寄せられるようになった。
- ★ 今後、E P A受け入れ施設では1カ国だけに偏らず、多国籍者の受け入れが多くなる。今号では「多国籍者対応の仕方」を取り挙げて、基本的な対応方法の参考になればと思い、特集した。
- ★ また、対応の仕方次第では、国家試験合格能力に多大な影響を与えるので、極力、合格でき、実践力になるような受験者対応を目指す必要がある。

### 1、異文化社会に対する理解が必要

- 外国人から観れば、日本人と日本社会の在り方は、特殊な物として映っている。即ち、日本人社会の在り方は、世界の中でも稀にみる特殊社会であることを、まず日本人自身が認識する必要がある。
- その上で、受験者の国籍に関わりなく、表1の通り、日本語教育を通じて【共通の概念】を形成できるように、受験者達を指導しなければならない。
- そのためには、日本語教育の中で、日本人の【物の観方・考え方】を理解させることが最良の策だ。その結果、日本語習得をする中において、異文化社会に対する【相互理解】が成され、日本人・社会に対する理解が深まるのだ。

表1、【異文化社会の共通点（言語）】



### 2、習慣と規則の明確化が必要

- 社会に対する価値観や、人生観が日本人とは大きく異なる外国人には、受け入れ機関が明確に、採用目的を最初に理解させておかなければならない。あくまでも、「労働力の提供」が基本に有ることを自覚させる必要がある。その結果、毎月の労働報酬としての給料が発生することを、強く自覚させることが重要だ。そして、施設で定められた「就業規則」等を音読させて、理解を促すことも必要な方法の一つだ。
- また、業務の内容については、日本人と同等の条件で業務をすることを要求し、受験者の労働者意識を育成するために、主に体得をさせて、業務遂行を時間通りに行わせることが、とても重要な要素となる。その要素は、日本人社会での働き方の基本を身につけるためだ。
- 外国人に対して日本人の不得手なことは、【物事に対して明確に話す】ことが少なく、遠回しや曖昧な表現や遠慮がちな言い方をするために、受験者がその話しの内容を理解できず、困惑してしまうことが多い。
- そのために、受験者間では「日本人は言う事が違う」等と、日本語教師に訴える場合がある。しかし、教師が受験者の立場と施設の立場を理解させることで、受験者自身が契約上、それは当然の事だと頷く場合が多い。
- さらに、日本人の対応の仕方がその施設内の習慣を、労働条件と混同して、受験者に対応している場合もある。そのために、労働条件外のものが受験者の労働負担となり、違和感を与えていることも事実だ。

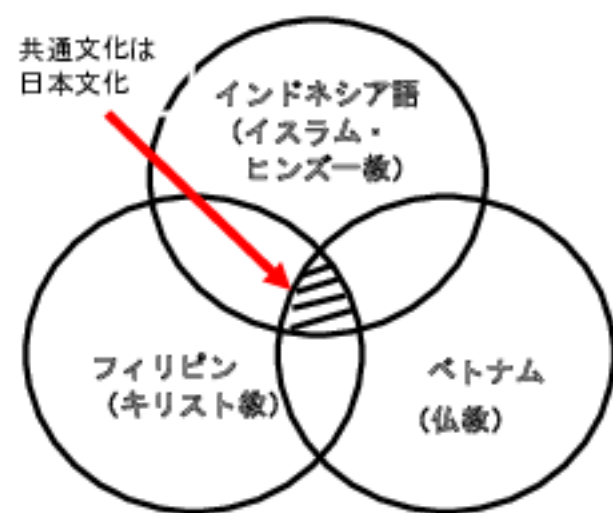
### 3、契約に基づく労働者意識の高揚の仕方

- E P A協定の送り出し国は、日本社会以上に契約意識が強い国々だ。その背景には表2の通り、宗教に基づく文化の違いが根本にある。なお、ベトナムは社会主義国であるが、一般社会では仏教に対する信仰が強くある。しかし、日本国も仏教国と言われているが、儒教的な社会習慣が根強く残っているために、ベトナムとは、そこに大きな違いがある。
- 受験者の精神的な背景を考慮して、入職時に明確な受け入れ機関の方針を分かりやすく理解させることが、最も重要だ。まずは、就業規則を分かりやすく理解させることに力を注ぐ方法が、最も効果的と言える。例えば、イスラム教徒の女性が被るヒジャブを着用しないで欲しいと説明した所、これを理解して自ら着用しなくなった例も全国ではある。
- 勤務時間並びに、休日の取り方等、基本的な労働条件は厳守することを理解させ、他の日本人職員との統一性を図ることが重要だ。よって、勤務時間内での特別な国家試験対策の学習時間等は設けずに、日本人職員との差別感を作り出さないことだ。
- 多くの受け入れ機関では厳しく、そして、強く受験者に労働条件を理解させていない所がある。そういう所では、一週間のうち3日間、午前中を学習時間にあてているケースがあり、さらには、一週間通して午前中を学習時間にあてている所もある。

### 4、特別待遇は、労働者意識に弊害

- 受け入れ機関では、入職した受験者達に「1か月間単位のシフト表」を用意しているが、このシフト表で学習時間を配慮することによって、日本人職員より労働時間数が減少するために、受け入れ機関で必要な労働力が不足することになる。
- さらに、日本人職員が学習指導等に当たれば、その職員の労働時間をも減少させる。相対的に受け入れ機関の労働力は年単位で観ると、1,296時間もの労働時間が割かれることとなる。  
【算出根拠】受験者二名に職員一名で、週三日間・一回3時間の学習をした場合。

表2、【言語は価値観を表す（概念図）】



- しかしながら、これらの方法を取っていても、決して教育効果は上がっていない。受験者は、「私たちは特別扱いの権利がある」の意識を持つことになり、この意識から派生して、給料や処遇に対する不満等が、彼らのネット上で公然と語られている現実があることに注目すべきだ。

【郷に入っては郷に従え】の格言通りに対応することが、何よりも肝心だ。

- 受験者に特別意識を持たせないためには、以下の対応が絶対不可欠だ。
  - ① 就業時間内には、学習時間を設けない。
  - ② 受験者は母国で看護・介護業務の経験をしている者が多いので、その経験を活かせるよう、実務を極力行わせる。
  - ③ 無資格の場合は、業務内容に制約があるので、それに抵触しない範囲で現場業務を行わせる。
  - ④ 学習は「自学学習」に徹底させる。
- 上記の4項目が行われる大前提には、受験者の言語能力を常に高める対応が、絶対不可欠だ。なお、既に4項目を実施して入職二年目から、会議や夜勤勤務等に従事している受験者もいることに、留意すべきだ。

ことばの研究社  
ホームページ開設

【ホームページの特徴】

<http://kotoba-ken.com/company/>

- ① 【月報・国家試験対策情報】の過去に発行されたもの1号から全てを必要に応じて選び、E P A受け入れ受験者の教育指導の参考にできます。
- ② 他施設・病院の「現場の声」を1号から読み、情報の収集ができ、E P A受験者対応に活用できます。
- ③ 具体的な「教育指導方法」や、「教育効果例」等が随時に読み取れて、現場の具体的な教育指導に活用でき、国家試験受験能力を養うために、活用できます。

## 【 国家試験受験能力到達度試験の特徴 】

【国家試験受験能力到達度試験】の特徴は、自学能力を養い諸技能が並行的に伸び、受験者の対応能力が養えます。 教育効果は、平成 24 年度国家試験で受験者数 95 名中 36 名が合格し、その 36 名中 19 名 (52.7%) がこの【到達度試験】を受けた受験者でした。 25 年度では、128 名の国家試験合格者のうち、【到達度試験】参加者は 76 名で、合格者は 68 名 (89.4%) でした。

※ 本試験は、あくまでも、専門領域で働く人間として必要な言語能力を養うことを重要視した学習方法です。 さらに、受験者が日常の業務の中で、日本人職員とのコミュニケーション能力をも身につけることができるために、病院や介護施設などで実践力のある要員として育成することを目的としています。 定期的試験結果を数値化し、職員に指導の仕方を考察票でお送りしておりますので、安心してご指導頂けます。 是非、ご参加下さい。

| レベル          | 合格基準                      | 特徴                                                                         | 技能の種類                                    | 合格        |
|--------------|---------------------------|----------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|-----------|
| 3段階          | 75 %<br>専門学校卒の<br>言語能力    | ※ 国家試験に対する合格力と知識力を養う<br>◎ 国試問題に対する「文脈読解」と「要約力」<br>に対応できる学習をさせる。            | ★ 5 技能<br>・ 瞬時反応<br>・ 文脈読解力<br>・ 要約力など   | 職域言語能力を養う |
| 2段階          | 90 %<br>専門学校 2 年<br>の言語能力 | ※ 専門知識の活用力を養う<br>◎ 国試過去問を使った「漢字専門用語」(漢字<br>熟語)と「文脈読解力」に対応できる学習を<br>させる。    | ★ 4 技能<br>・ 瞬時反応<br>・ 漢字熟語力<br>・ 文脈読解など  |           |
| 1段階          | 90 %<br>専門学校 1 年<br>の言語能力 | ※ 専門知識の運用力を養う<br>◎ 国試過去問を中心とした問題で「読解力」<br>(語彙力・文意力)に対応できる学習をさせる。           | ★ 3 技能<br>・ 瞬時反応力<br>・ 文意読解など            |           |
| F段階          | 85 %<br>高校 3 年の<br>言語能力   | ※ 専門領域の基礎力を養う<br>◎ 介護・看護の基礎知識を基に具体的な事例で<br>学習させる。                          | ★ 4 技能<br>・ 瞬時反応力<br>・ 文意読解など            | 生活言語能力を養う |
| E段階          | 80 %<br>高校 1 年の<br>言語能力   | ※ 日本語の「規則性と用法と運用力」を養う<br>◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった<br>運用力が身につく学習をさせる。          | ★ 9 技能<br>・ 文読解力<br>・ 図読解力など             |           |
| D段階          | 75 %<br>中学校 2 年の<br>言語能力  | ◎ 日本語の用法を基に、学習目的にそった<br>自学力が身につく学習をさせる。                                    | ★ 11 技能<br>・ 対応力<br>・ 要約力など              |           |
| C段階          | 70 %<br>小学校 6 年の<br>言語能力  | ◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった<br>自学力が身につく学習をさせる。                                   | ★ 11 技能<br>・ 瞬時反応力<br>・ 文脈力 など           | 基礎言語能力を養う |
| B段階<br>N2レベル | 70%<br>小学校 4 年の<br>言語能力   | ※ 日本語の基礎知識を養う<br>◎ 日本語を表現するために必要な「基礎的な<br>知識とその使い分け」ができる能力を中心<br>として学習させる。 | ★ 11 技能<br>・ 瞬時反応力<br>・ 読解力など            |           |
| A段階<br>N3レベル | 75 %<br>小学校 3 年の<br>言語能力  | ・ 構文力・読解力・文字(ひらがな・カタカナ・<br>漢字)・助詞・接続詞の使い分けなど。                              | ★ 13 技能<br>・ 瞬時反応力<br>・ 文字認知力<br>・ 読解力など |           |
| 初回           |                           | 受験者の現状の日本語能力を観る。                                                           |                                          |           |

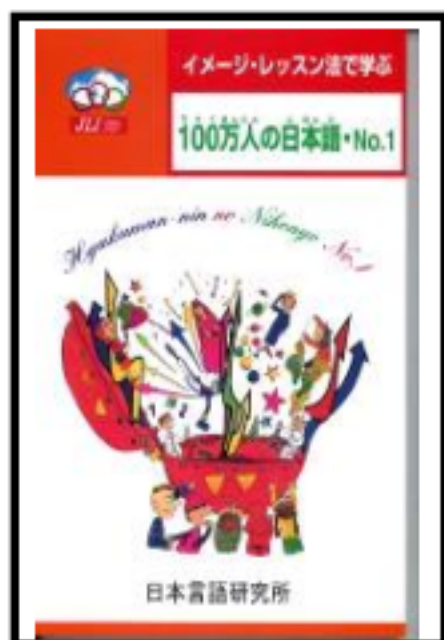
# 自学能力を養うための 適切な教材！！

- ① 視覚的に学べる      ② 日本語の「規則性と用法」が学べる  
③ 漢字も類推して読める      ④ ストーリー性があり、体系的に作られている

スカイプ・教材の問い合わせ先  
ことばの研究社  
電話：086-431-3481  
FAX：086-431-3482  
岡山県倉敷市庄新町 9-4-12

## 主教材

### 基礎言語能力レベル

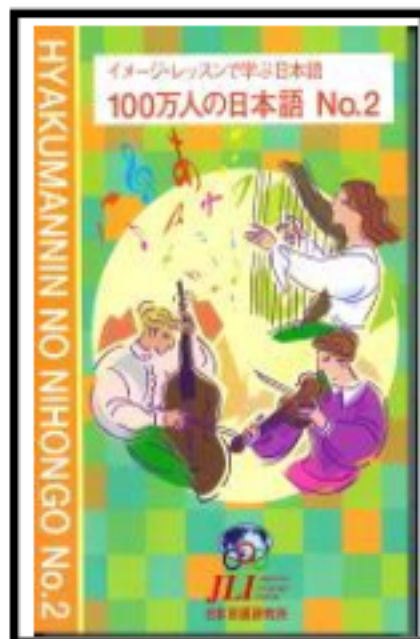


#### 【テキスト「100万人の日本語 No.1」】

ひらがな・基本漢字の習得とともに、全ての言語活動の基本となる概念を形成し、名詞文・存在文・普通動詞文を無理なく学習できる構成となっています。(2,805 円)

※ 習得漢字数 310 字～620 字

※ 習得語彙数 520 語～1560 語



#### 【テキスト「100万人の日本語 No.2」】

会社や学校、家庭内などあらゆる場面における会話文を中心に構成され、社会生活に必要な抽象語を理解しながら、性別や立場による言葉の使い分けを習得できます。また、形容詞文学習により心情・語感表現力の基礎を築きつつ、各ページのコーナーで日本語のあらゆる規則性と用法を自学できます。(2,805 円)

※ 習得漢字数 420 字～840 字

※ 習得語彙数 570 語～1,710 語

### 生活言語能力レベル



#### 【テキスト「100万人の日本語 No.3」】

日本社会に適應できる人間関係を理解して、目上の人に対する礼節を保つ表現力が身につきます。

論理的に文を組み立てた長文が書けると同時に、漢字熟語を使った要約文を書けるようになります。

仕事に関連する語彙を自分で辞書を引いて調べることができます。(3,300 円)

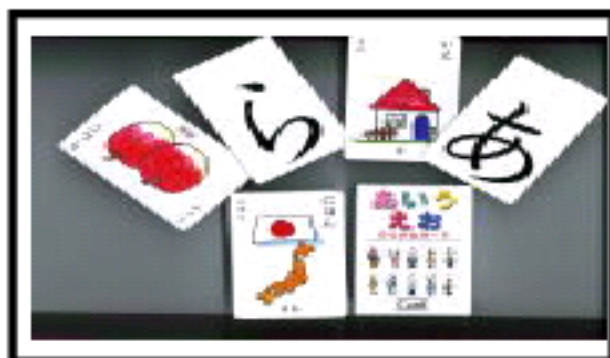
※ 習得漢字数 850 字～1,700 字

※ 習得語彙数 1,110 語～3,330 語

使ってみてビックリ！  
教育効果の高さ  
副教材

基礎言語能力レベル

手が掛からずに、  
受験者だけで勉強できる教材



表面にはひらがな文字が一文字ずつ書かれており、裏面にその文字を使った語のイラストが色彩鮮やかに描かれています。

イラスト面には「ひらがな・カタカナ・漢字」の3種類でその言葉が表記されており、学習者が文字を比較しながら自学できるつくりになっています。基礎教育の日本語学習者に最適な内容になっています。

(1,155 円)



ひらがな文字の自学に最適な教材です。字形、書き順などの練習だけでなく、全ての日本語の基礎となる「しつもとこたえ方」に絶対必要な発話方法を、身近な事例を使って学習できるようになっています。社会生活に必要な最低限の語彙も同時に習得し、定着できるように作られています。

(1,980 円)



『100万人の日本語 No.1』に沿った構成となっており、文型・成文の習得をしながら効率的に漢字の読み書きが習得できるようになっています。

非漢字圏の学習者が漢字習得をする上で最適。

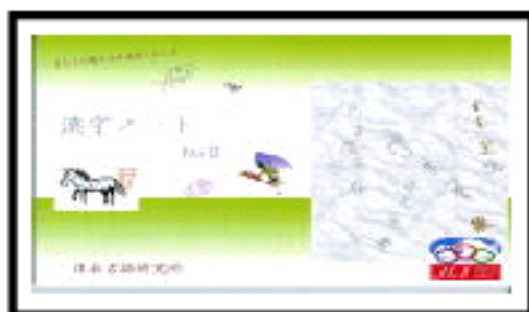
また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

生活言語能力レベル



カタカナ語彙を使った場面を表すイラストが各ページにあります。このノートは説明文と会話文が織り成されています。この場面を紹介する文は、外来語の理解とその音出し練習をしながら、練習問題によって読解力と文型の応用力を養えるようになっています。

(1,496 円)



『100万人の日本語 No.2』に沿った構成となっており、漢字習得と成文練習のみならず、読解力も同様に養えるように作られています。

漢字の「へん・つくり」の付録もあって、漢字の成り立ちに対する理解ができる内容となっています。

非漢字圏の学習者が漢字を習得する上で最適。

また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

